

船舶会社の本社として、1920年(大正9)に竣工。当時は珍しい鉄筋コンクリート造で、完成当初から水洗便所を設備していた。3つの変形をアレンジした壁面や円形の玄関周りなどが特徴。

日本の橋梁技術が結集された本格的な長大吊橋。1962年(昭和37)に完成。建設資材はすべて国産で、耐風耐震対策のために日本独自の検討が加えられた。この技術は関門橋以降の長大吊橋に引き継がれる。



④若戸大橋



石炭会館  
 若松石炭商同組合の事務所として、1905年(明治38)に竣工。木造にモルタル外装を施し、目を多用しているため、一見石造り風に見える。当時は、社交場、迎賓館としても使われていた。

①官営八幡製鐵所日本事務所  
 世界遺産登録された官営八幡製鐵所の建物の一つ。1899年(明治32)に竣工。赤煉瓦組構造で中央塔、1905年(明治38)に竣工。木造にモルタル外装を施し、目を多用しているため、一見石造り風に見える。当時は、社交場、迎賓館としても使われていた。



北九州市では、市民に親しまれる優れた景観や建築物を「都市景観資源」や「景観重要建造物」として指定しています。(\*\*)

昨年、世界文化遺産に登録された八幡製鐵所の3施設も指定物件のひとつです。これらの素晴らしい、市民の資産ともいえる産業景観をめぐるモテルコース。あなたの身近にある誇るべき景観を、このツアーで再確認すれば、わかまち北九州市への愛着と誇りが、一層増してくるはずです。

# 北九州市都市景観資源・景観重要建造物をめぐるモテルコース



(※)自然、建造物、まちなみ、眺望など、良質な都市景観を形成する上で価値があると認められるものを「都市景観資源」とし、景観重要建造物とは、都市景観資源のうち、建造物を対象として景観法に基づき選定されたものです。(国指定重要文化財等は対象外)



MODEL COURSE	
13:00	小倉駅集合・出発
>	<
13:30	官営八幡製鐵所日本事務所 眺望スペース
>	<
14:15	石炭会館
14:30	旧古河鉱業若松ビル [休憩] 若松の古い写真を見たり、お土産を購入できます。
15:10	上野ビル
15:20	朽木ビル
>	<
16:00	小倉駅到着・解散

## [八幡・若松編]



気象や風土による地形構造から、移り変わりの激しい現代社会の表層まで、様々な層の重なり方が、場所のありさまを決定しています。そこには、自然を基盤とした、環境、歴史の積み重ね、過去の人々の生活と努力の結果が存在しています。

今私たちが目にすることができるのは、その結果の現時点での形です。

「風景の見方」は、現在の私たちの生活と、この積み重ねの結果との間にある物語を考えるものです。北九州市には、まちを形成してきた産業遺産や、歴史的建造物などの地域資源が数多く残っています。私たちがこの「風景」の大切さに気付き、守り、継承していかなければ、気づいたときには、消失しているかもしれません。それは、北九州市らしさの消失にもつながります。

ぜひ、お気に入りの「風景」を見つけ、そこにある物語を知り、眺められる場所を大切にしましょう。

風景ガイドツアーについて 私たちの身近にある風景や景観資源を見て知っていただくことで、わかまちへの愛着と誇りを感じてもらうことを目的に行っています。

### 風景の楽しみ方

歩いたり自転車で回ったりして、その土地の風や匂いを感じてみよう。 	その土地ならではの食べ物や民芸を楽しんでみよう。 	古くからある路地や小径を見つけて歩いてみよう。 
地元の人にいろいろな話を聞いてみよう。 	地形が分かる高台から眺めてみよう。 	商店街や市場でその土地ならではの生業や暮らしを感じてみよう。 



# 風景の見方

WAY TO SEE

THE LANDSCAPE